

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.5.12

No. 12



## 早くも中途離職者報告

今年の3月に卒業した先輩より連休前の28日夕方学校に電話がかかってきました。「もう我慢できないから会社を辞めたい」との報告を受けました。入社して1月経たないのにどうしたかと聞きましたが、結局はっきりとした理由を話さないまま、泣きながら「我慢できない」の一点張りでした。その思い詰めた様子に、もはや説得の余地がないように思われ、その後社長さんに電話をしてお詫びをしました。会社でも理由が分からないとのこと。

この先輩は昨年何社か受験しましたが思うように決まらず、最後にこの会社に入社してもらいましたが、まさかこんなにも早くギブアップしてしまうとは何ともいいようのない思いにかられました。就職試験に出された作文を事前にチェックしましたが、「しっかりやりたいので是非入りたい」旨のことが書かれており、これならば大丈夫かと思っていました。しかし、やっとの思いで入れていただき、こんなにも早くその期待を裏切るような状況は学校としても強い責任を感じ、企業に対して申し訳ない思いで一杯です。当然あらためて会社に再度お詫びに行くつもりです。

何とか卒業するまでに職を決めてやりたいと思い、苦勞して会社を探し紹介してやっても、こうした状況では苦勞のしがいがありません。

皆さんが会社を辞めても皆さんだけの問題ではありません。学校としてもその会社へ来年度お願いしづらくなり、結果的には後輩に影響してきます。

世の中に出れば学生時代のように自分の気持ちだけを通すことは出来ません。一般社会人としてのある程度の我慢をすることが必要です。ちょっと辛いことがあったからといって、直ぐその場から逃げることは出来ません。我慢が出来なければ社会人としての信用を失ってしまいます。

来年もこの様なことは繰り返して欲しくないものです。こうならないためにも皆さんには、進路選択には慎重になって欲しいものです。

## ある企業の方のお話し サービス業か製造業か



企業訪問した際ある企業の人事担当の方からお聞きした話です。

若者はサービス業など一見すると華やかな仕事にあこがれがちだが、サービス業というのは人間相手の仕事だけに、若い人が思っている以上に人間関係で苦勞することが多く、神経を使う仕事と思う。それに対して製造業は機械やものと関わっているために、地味で華やかさはないかもしれないが、真面目にコツコツ働いていれば精神的には楽なはず。人と関わることが好きな人でなければ、サービス業はつとまらない。この点を是非生徒に伝えて欲しいと言われました。